

中津川市立加子母中学校で防災講座を行いました

令和6年6月24日（月）、中津川市立加子母中学校で1年生12名・2年生20名・3年生13名に防災講座を行いました。講座は防災士会の方々にも見学して頂きました。この学校での講座は今年で2回目となります。

講座では、伊勢湾台風や加子母地区で大きな被害のあった昭和46年9月6日豪雨災害など、過去に発生した水害を学習しました。その後、3年生はVRによる浸水疑似体験、1・2年生は浸水疑似体験映像の視聴を行い、ハザードマップを確認して、マイ・タイムラインを作成しました。マイ・タイムラインは皆さん知らないとのことでしたが、友人や先生と相談したり防災士会の方々から災害当時の話を聞きながら作成していました。

講座を通して、全員が浸水する前に避難したいと回答し、また、講座の最後には代表の生徒から、「家に帰ったらどこへ避難するかを家族で話し合っ、自分の命が守れるようにしたいです。」「はやく避難することが一番大切だと分かったので、心がけて行動していきたいです。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は名古屋テレビ、岐阜新聞に取材頂きました。

